

2020年6月30日

コロナ禍の影響を受けた事業者の皆さまへの 広域復興支援ファンドを通じた支援について

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2020年6月30日（火）、出資している「令和元年台風等被害広域復興支援ファンド」が、投資対象拡大等の規約変更を行い、コロナ禍の影響を受けた事業者の皆さまの支援を行えることとなりましたので、お知らせいたします。

本ファンドは、2019年の一連の豪雨・暴風災害により被災された事業者および復興に資する事業者の皆さまを支援するため設立されたものですが、今般の変更により、コロナ禍に伴う既往債務の課題への対応はもとより、経営基盤の改善やビジネスモデル転換に取り組む事業者の皆さまへの資金提供や人的支援を行うことが可能となります。

当行では、本ファンドを通じた取組みを含め、コロナ禍の影響を受けた事業者の皆さまに対する幅広い支援を引き続き行ってまいります。

以 上

報道機関からのお問い合わせ先
総合企画部 財務室 関
TEL : (048) 641-6111



【ファンドの概要】 (下線は今般の変更箇所です)

名称	令和元年台風及び新型コロナウイルス等被害東日本広域復興支援 投資事業有限責任組合
ファンド金額	4, 195百万円
組員構成	株式会社武蔵野銀行 株式会社七十七銀行 株式会社仙台銀行 株式会社東邦銀行 株式会社福島銀行 株式会社常陽銀行 株式会社筑波銀行 株式会社足利銀行 株式会社栃木銀行 株式会社群馬銀行 株式会社東和銀行 株式会社きらぼし銀行 株式会社横浜銀行 株式会社第四銀行 株式会社北越銀行 株式会社山梨中央銀行 株式会社八十二銀行 株式会社長野銀行 株式会社静岡銀行 株式会社清水銀行 株式会社日本政策投資銀行 株式会社ゆうちょ銀行 株式会社商工組合中央金庫 株式会社埼玉りそな銀行 福島信用金庫 <u>株式会社北海道銀行</u> <u>株式会社北洋銀行</u> <u>株式会社青森銀行</u> <u>株式会社秋田銀行</u> <u>株式会社岩手銀行</u> <u>株式会社北都銀行</u> <u>株式会社荘内銀行</u> <u>株式会社山形銀行</u> <u>株式会社みちのく銀行</u> <u>株式会社きらやか銀行</u> <u>西武信用金庫</u> 東邦リース株式会社 (GP) 株式会社常陽産業研究所 (GP) 株式会社あしぎん総合研究所 (GP) 八十二キャピタル株式会社 (GP) 株式会社 AGS コンサルティング (GP) REVIC キャピタル株式会社 (GP)
設立日	2020年1月31日
存続期間	10年間
投資対象	岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県、 <u>北海道、青森県、秋田県及び山形県</u> に本店または主要事業拠点を有する、台風等災害により被災された事業者及び同地域の災害復興に資する事業者、並びに <u>新型コロナウイルス感染症の影響により経営環境が悪化した事業者</u>